

行財政・医療福祉対策特別委員会 県内行政調査

1 調査日 令和7年7月23日（水）

2 調査の概要

（1）聖泉大学（彦根市肥田町）

聖泉大学は、卒業生の県内就職率が高く、県内唯一の私立看護大学として、看護人材等の養成について多くの知見と実績を有している。

本県は、高齢化や人口減少の進行により、医療介護ニーズを抱える方が増加する中、将来を見据えた総合的な医療福祉体制の充実を図る必要がある。

本委員会は、将来を見据えた総合的な医療福祉体制の充実についてを重点調査項目としており、今後の委員会活動の参考とするため、同大学を訪問し、看護人材確保・養成の取組について調査を行った。また、看護学生との意見交換を行う県民参画委員会を実施した。



（2）長浜市役所（長浜市八幡東町）

長浜市は、DX実証実験プロジェクトの一環として、AIを活用した電話システムの実験的導入等を実施するなど、AI等を活用した業務効率化に積極に取り組んでいる。

本県は、少子高齢化が加速しており、持続可能な行財政基盤を確立するため、デジタル技術を有効に活用することで、生産性の向上や業務効率化を図る必要がある。

本委員会では、持続可能な行財政基盤の確立についてを重点調査項目としており、今後の委員会活動の参考とするため、同市を訪問し、行政として実施することが出来るデジタル技術の活用について調査した。

